2020.4.17

徳島大学での留学生活

　徳島大学医学部保健科学教育部一年生のヨウニンインと申します。中国四川省の出身です。

　仕事後の留学について真剣に考えた上で、徳島大学を選びました。

　初めて徳島に着いた時、きれいで静かな町やたくさんの川、川に浮かぶボートや建物に感動しました。まるでアジアのヴェネツィアのような感じです。私は徳島が大好きになりました。

　入学後、教授、准教授、二人のティーチングアシスタントの先生は私たち新入生にいろいろ心配をかけてくれました。日本語に自信がなく留学経験が少ない私とよく関わり、本当に私を助けてくださりました。

　教授の熱心な指導のおかげで奨学金を取得することができました。これが私の生活費に関するストレスを大幅に減らしてくれました。教授とお会いできたことは私にとって幸運なことです。困難に遭った時、教務の方々も熱心に助けてくれました。

　留学中の生活を豊かにするために、学校は定期的に研究ミーティングやイベントを開催してくださりました。例えば、日帰り研修旅行や勉強会、世界文化遺産にも行きました。これは日本文化を体験できる大チャンスだと思います。８月の阿波踊りなどは留学生にとって地元の方と一緒に楽しむ機会となりました。地元の方との交流や郷土文化に触れることは、留学生が絶対にするべき体験だと思います。また、毎年四国内の大学に所属する留学生の運動会があり、スポーツを通して、他大学の留学生と交流することができます。試合終了後、様々な賞品を頂けたり、たくさんの留学生の友達もできたりすることで留学生活を豊かにしてくれています。
学生としてもう一度様々な経験をすることができ、本当に幸せだと思います。先生方のおかげで，私は再び勉強する機会をもらいました。これからも研究を続けて、留学生活を楽しむつもりです。